

令和5年度研修のご案内



管理栄養士
の方

臨床栄養師研修 1P～

医師
看護師
薬剤師等
の方

NST(栄養サポートチーム)研修 5P～

すべて
の方

公開研修 9P～

大学院生・
大学院の先生
の方

大学院生・大学院の先生へ 11P～

臨床栄養師研修

医療・介護における栄養のスペシャリストを育成いたします。

人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識・技術・マネジメント能力を習得し、栄養ケア・マネジメントの質の向上に貢献できる臨床栄養師の育成を目的としています。著名な教授陣や第一線で活躍中の臨床栄養師による講義・指導を受けられます。

全国 **380名** の臨床栄養師が活躍中！

臨床栄養師とは

臨床栄養師とは、人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識、技術およびマネジメント能力を習得し、栄養ケア・マネジメントの質の向上に努めることのできる能力を有している学会員である管理栄養士である。
(当会 臨床栄養師資格認定規則第2条より)



- ・米国の登録栄養士の教育制度を手本にしたインターン研修制度
- ・臨床栄養師の資格授与とともにNST加算の要件取得可
- ・3年間かけて受講可(理由があれば3年以上の研修期間延長可)
- ・臨床研修施設の選定は希望と施設側のマッチング方式
- ・著名な教授陣と第一線で活躍中の臨床栄養師による講義・指導
- ・栄養ケアプロセスによるグループディスカッションの症例検討有

費用

認定講座(受講料+テキスト代) 121,000円
臨床研修 220円/1時間 + 手数料 11,000円

研修内容

認定講座100時間(毎年5月～11月の土日祝日で開催)
臨床研修900時間(急性期病院(特定集中治療室等を含める)・精神科病院、医療療養病床・回復期リハビリテーション、介護保険施設、在宅訪問、地域栄養活動、給食経営管理)

- ・認定講座の日程は別紙をご確認下さい(3年間で各自選択し、必要時間を満たすように受講する)。
- ・新型コロナウイルス感染症感染防止に対応し、状況によっては【感染症拡大に伴う臨床研修特例措置】による症例検討で対応させていただきます。
(<https://j-ncm.com/wp/wp-content/uploads/2021/01/202103keijibutu.pdf>参照)
- ・認定講座欠席の場合には、規定に基づき、その理由により指定課題のレポートの提出やオンデマンド配信された動画の視聴によって出席となります(栄養サポートチーム研修の科目を除く)。

お問い合わせ

日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師研修担当 加納 亜紀子
E-mail: ncm.kanou@gmail.com
※メールでのお問い合わせにご協力をお願い致します。

◆ お申込み

一般社団法人日本健康・栄養システム学会ホームページ(<http://www.j-ncm.com/>) より「募集要項」をご確認の上、書類を郵送して下さい。

◆ 免除対象

費用や研修には様々な免除制度があります。詳しくは募集要項をご確認下さい。

＜免除対象一例＞

○認定講座費用が減額になります。121,000円→39,600円

対象 ・神奈川県立保健福祉大学実践教育センター栄養ケア・マネジメント課程修了者
・宮城学院女子大学大学院「職業実践力育成プログラム」受講者
・大学院生、かつて大学院生であった者

○令和5年6月17日(土)・18日(日)に開催予定の第23回日本健康・栄養システム学会(WEB開催)への参加は、1日につき認定講座20時間(NST研修科目を除く)の履修互換認定になります。

○病棟・施設等において2年以上栄養ケア実務を実施している方は、臨床研修450時間が履修互換認定になります。

◆ 特におススメしたい方

★専門性の高い業務をされている方(在宅、子どもなど)

★一人職場で、初任者であるために仕事に自信のない方

★第20回以前の管理栄養士国家試験合格者で、育児などで一度仕事から離れ、復帰される方・・・病院、在宅、個別性の高いケアなど、時代と共に変わって来ていますので、再勉強に最適です。

★人材育成や職場の課題に直面している管理職や管理職候補の方・・・栄養ケア・マネジメントの業務活動上の問題を科学的根拠やマネジメント手法などを活用して明確にして解決できる力、マネジメントに関する知識・技術を習得することができ、業務に即活かすことができます。

★大学院生・・・栄養専門職として自立し、どの分野であっても初日から実務に取り組むための最低限の力量を持てます。

また、それぞれの実践分野で活躍している指導者(臨床栄養師)を通して自分の将来像を描き、それに向かって努力ができます。

★養成大学教員・・・教員業務では積むことのできない臨床経験を増やすことができ、文部科学省の900時間の研修は臨床栄養の○合判定のための実務経験とみなされます。

★かつて大学院生であった方・・・履修科目を証明する書類及び履修科目内容を示す書類(シラバス等)を提出することで認定講座の履修時間に互換認定を申請することができます。

◆ 研修詳細

研修の詳細につきましては一般社団法人日本健康・栄養システム学会ホームページ(<http://www.j-ncm.com/>)、もしくは下の画像を読み取ってご確認くださいませ。



■ いただいた個人情報は適切に管理し、当学会関連の案内送付等を除き、第三者に開示・提供はいたしません。

日本健康・栄養システム学会
令和5年度臨床栄養師認定講座(公開)プログラム

※ 申込締切は、各回5日前 ※

令和5年1月6日版

開催日程	科目	講師	概要	時間	時間帯
1 5月20日 (土) 10:00~ 17:00	経営の基礎	小山秀夫 (兵庫県立大学特任教授・名誉教授)	医療・介護・福祉の経営学的視点から、栄養ケア・マネジメントの現在及び将来をみすえたマネジメントの基本を学び、行動するための必須講義。	2時間	10:00~ 12:00
		矢野目英樹 (相澤病院栄養科科长)	早期栄養介入管理加算、周術期栄養管理加算に繋がることになった先進的な病院栄養部門の管理者の経営的考え方、取組み、イノベーションの実績を学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
		深柄和彦 (東京大学医学部附属病院教授)	特定集中治療室等の早期栄養介入管理加算、周術期栄養管理加算等の診療報酬の新設にあたり、エビデンスやガイドラインによる裏付けをされた臨床外科代謝学、病院管理の第一人者から学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00
2 5月21日 (日) 10:00~ 17:00	栄養ケア・マネジメントの運営	高田健人 (十文字学園女子大学講師)	医療・介護・福祉における栄養ケア・マネジメントについて、その歴史、構造、プロセス、評価の要点とその考え方やエビデンス、将来をみすえて強化すべき課題とその対応を学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
	栄養教育(低栄養状態)	苅部康子 (介護老人保健施設 リハパーク舞岡栄養課課長)	小規模施設での栄養ケア・マネジメントの体制と実務の現状と将来をみすえ課題について介護保険施設の先進的な取組みから学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
		藤谷朝実 (淑徳大学教授)	栄養ケア・マネジメントの最大の課題である低栄養に対応したアセスメントのスキルについての内外の最新のエビデンスやガイドラインをもとに栄養ケアプロセスを含めて学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00
3 6月25日 (日) 10:00~ 17:00	給食経営管理(基礎)	麻植有希子 (SOMPOケアフーズ株式会社栄養管理部部長)	給食経営管理者に必要な能力として専門性、マーケティング、コミュニケーション能力、経営への参加、戦略立案から人の心を動かすプレゼンテーションまでを学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
	給食経営管理(応用)	堤亮介 (平成医療福祉グループ栄養部部長代理)	栄養ケア・マネジメントにおける給食経営管理の意義、実践現場が抱える様々な問題(コンフリクトを含めて)とその解決について学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
	症例検討と発表(症例検討の基本)	高崎美幸 (東葛クリニック病院栄養部・マーケティング戦略室)	入院・退院・在宅訪問と移行する症例を通じて症例検討のグループワーク、発表の基本を学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00
N S 4 T 8月5日 (土) 9:30~ 18:20	経腸・静脈栄養法(経腸栄養)【基礎】★	加藤昌彦 (信山女学園大学教授)	臨床的に安定している患者の栄養ケア計画作成・補給方法(特に経腸栄養)から実践までを、特に「栄養治療と栄養療法」「経腸栄養~基礎から応用」「エネルギー・各種栄養素必要量の算定」等についての最新の知とその実践方法を学ぶ。	3時間	9:30~ 12:30
	経腸・静脈栄養法(経腸栄養)【基礎】(懸濁法等 薬剤との関係)★	菅野浩 (済生会横浜市東部病院薬剤部部長)	NSTにおいて必要な経腸栄養法における簡易懸濁法などの薬剤との関係について学ぶ。	1時間	13:20~ 14:20
	倫理とチーム活動~医療介護サービスとチーム活動を中心に~★	三浦公嗣 (藤田医科大学教授)	医療・介護サービスにおける倫理を踏まえて、NSTや栄養ケア・マネジメントに際したチームアプローチの根幹となる基本的考え方について学ぶ。	2時間	14:20~ 16:20
	科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント活動	榎裕美 (愛知淑徳大学教授)	科学的根拠に基づいた効果的なNSTや栄養ケア・マネジメントの取り組みをめざし、科学的根拠の水準と研究方法の理解、科学的根拠の検索方法、論文を理解するための論文の構造や統計学の基本を学ぶ。	2時間	16:20~ 18:20
8月6日 (日) 9:30~ 18:20	経腸・静脈栄養法(静脈栄養)【応用】★	深柄和彦 (東京大学医学部附属病院教授)	静脈栄養法についての基礎として、等張の輸液製剤、輸液の各種基本製剤、中心静脈栄養法(TPN)とその施行上の遵守項目、TPN管理の実践について講義及び実際の電解質組成の計算等について学ぶ。	3時間	9:30~ 12:30
	栄養アセスメント・栄養ケア計画★	深柄和彦 (東京大学医学部附属病院教授)	急性期入院患者の栄養障害への早期対応のための栄養スクリーニング・栄養アセスメントの基本について学ぶ。	1時間	13:20~ 14:20
	特定保健用食品、保健機能食品、病者用食品の検討(保健機能食品制度:特定保健用食品、機能性表示食品を含む)	梅垣敬三 (静岡県立大学客員教授)	保健機能食品制度から最近の機能性表示食品の普及までを学ぶ。	2時間	14:20~ 16:20
	特定保健用食品、保健機能食品、病者用食品の検討(栄養機能食品、特別用途食品(病者用食品)、経腸栄養剤等の検討)	合田敏尚 (静岡県立大学特任教授)	食品の選択・適性使用をめざし、栄養機能食品や病者用食品に関する制度、種類及び現行の課題について学ぶ。	2時間	16:20~ 18:20
8月7日 (月) 9:30~ 18:20	栄養アセスメント・栄養ケア計画福祉基礎	田中和美 (神奈川県立保健福祉大学教授)	地域包括ケアシステムにおけるNSTや栄養管理の位置づけを、医療・福祉政策等の最近の動向、低栄養とフレイル、生活保護、地域連携の視点から学ぶ。	2時間	9:30~ 11:30
	栄養アセスメント・栄養ケア計画水電解質と輸液	三原法子 (山形大学講師)	水・電解質と輸液の基礎を、具体的NSTの取り組み事例から学ぶ。	2時間	11:30~ 12:30、 13:20~ 14:20
	在宅栄養ケア・マネジメント 高齢者在宅	古賀奈保子 (いばらき診療所)	在宅療養患者におけるアセスメント・モニタリング、栄養ケア計画作成を学ぶとともに、患者・家族との栄養・食事に関するコミュニケーションのあり方を学ぶ。	2時間	14:20~ 16:20
	経腸・静脈栄養法:NSTの実際と症例	工藤雄洋 (済生会横浜市東部病院栄養部副部長)	NSTの体制や取組みの実際とチームによる症例検討のあり方を学ぶ。	2時間	16:20~ 18:20
8月8日 (火) 9:30~ 16:20	栄養アセスメント・栄養ケア計画PES基礎	矢野目英樹 (相澤病院栄養科科长)	NST等の症例検討を中心に、栄養診断(総合的な栄養問題の評価)やPES(栄養ケアプロセス)を活用した栄養ケア・マネジメントの展開を学ぶ。	2時間	9:30~ 11:30
	退院(所)計画・指導	高崎美幸 (東葛クリニック病院栄養部・マーケティング戦略室)	NSTから退院までのチームによる栄養管理のあり方について、特に退院計画作成、退院支援及び退院指導を重視し、講義及び多職種による症例検討から学ぶ。	2時間	11:30~ 12:30、 13:20~ 14:20
	経腸栄養退院指導の多職種連携	大石朋子 (湘南鎌倉医療大学講師)	経腸栄養利用者の「食べることを支える」ための退院指導の多職種連携のあり方について、「経口移行、経口維持のための嚥下スクリーニングや口腔ケア、食事介助等の具体的な手法から学ぶ(看護職による講義)。	2時間	14:20~ 16:20

日本健康・栄養システム学会

令和5年度臨床栄養師認定講座(公開)プログラム

※ 申込締切は、各回5日前 ※

令和5年1月6日版

	開催日程	科目	講師	概要	時間数	時間帯
5	8月20日 (日) 10:00~ 17:00	栄養教育(保健指導)(行動変容を促す保健指導のあり方)	五味郁子(神奈川県立保健福祉大学教授)	特定健診・保健指導におけるプログラム、指導計画、コーチング、行動変容を上手に促すスキルについて学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		栄養教育(栄養教育の基礎)(子育ての支援と食支援のあり方)	堤ちはる(相模女子大学教授)	妊産婦・授乳婦・乳幼児の栄養教育、食支援の基本を学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
		経営の基礎	堤亮介(平成医療福祉グループ栄養部部長代理)	継続的品質改善活動の実践について学ぶ。	1時間	15:00~ 16:00
		栄養教育(低栄養状態、カウンセリング・コミュニケーション)	杉山みち子(神奈川県立保健福祉大学名誉教授)	プレゼンテーション(継続的品質改善活動の課題の発表と討論)について学ぶ。	1時間	16:00~ 17:00
6	8月26日 (土) 10:00~ 17:00	症例検討と発表(脳血管障害の症例検討)	星野郁子(美原記念病院栄養管理部課長)	脳血管障害の病態や摂食嚥下障害について理解し、栄養ケアプロセスを用いた症例検討と発表を行う。	2時間	10:00~ 12:00
		症例検討と発表(脂質代謝異常の症例検討)	工藤雄洋(済生会横浜市東部病院栄養部副部長)	脂質異常症の基本的理解を深め、その後栄養ケアプロセスによる症例検討と発表を行う。	2時間	13:00~ 15:00
		症例検討と発表(病院基礎 回復期リハビリテーション病棟への入院から退院まで)	桐谷裕美子(医療法人社団輝生会初台リハビリテーション病院栄養部教育担当部長)	回復期リハビリテーション病棟の特性、低栄養とサルコペニア、高次機能障害について学んだ後、入院から退院前調整までの症例検討と発表を行う。	2時間	15:00~ 17:00
7	9月9日 (土) 10:00~ 17:00	症例検討と発表(ICU等、周術期)	矢野目英樹(相澤病院栄養科科長)	ICU等入室患者の特性を踏まえた令和4年度診療報酬改定対応のための症例検討。	2時間	10:00~ 12:00
		症例検討と発表(がん患者に対する栄養管理の症例検討)	上島順子(NTT東日本関東病院栄養部)	がん患者における栄養管理と管理栄養士の役割を整理した後、栄養ケアプロセスを用いた症例検討と発表を行う。	2時間	13:00~ 15:00
		地域栄養活動(自治体やボランティア活動団体との連携、異文化への対応のあり方)	野地有子(令和健康科学大学教授、千葉大学名誉教授)	地域の食事・栄養計画とボランティア活動との連携について、異文化や宗教的制限のある人たちの栄養ケアへの理解を深める。	2時間	15:00~ 17:00
8	9月10日 (日) 9:00~ 17:00	栄養ケア・マネジメントと情報管理(栄養ケアに役立つ様々なIT利用)	宇田淳(滋慶医療科学大学大学院教授)	情報とは、エビデンスとは、統計のうそとは、伝える情報から伝わる情報へ、ITを使う、情報機器の未来(ロボットやICT、デジタルヘルス時代)、ITリテラシー等、栄養ケア・マネジメントに役立つ最新の情報管理を具体的な病院、地域医療での事例を通じて学ぶ。	2時間	9:00~ 11:00
		栄養教育(生活習慣病)(生活習慣病(腎臓病)の栄養管理と食への支援)	鎌田由香(宮城学院女子大学准教授)	生活習慣病(腎臓病)の栄養ケア・マネジメントの基本と、食べることを支援するために必要な教育に関する知識と技術について、事例(腎臓病)を通じて学ぶ。	2時間	11:00~ 12:00、 13:00~ 14:00
		栄養教育(カウンセリング・コミュニケーション)	大木和子(昭和女子大学大学院客員研究員)	フレイル、サルコペニア等介護予防の観点からの栄養教育の概論、カウンセリング理論、交流分析に関する講義と実習。	2時間	14:00~ 16:00
			古賀奈保子(いばらき診療所)	カウンセリング・コミュニケーションの実践について学ぶ。	1時間	16:00~ 17:00
9	9月30日 (土) 10:00~ 17:00	栄養教育(栄養教育の基礎)(小児・障害児)	藤谷朝実(淑徳大学教授)	成長不良や代謝障害など小児期に特徴的な病児や障害がある方の栄養障害の特徴や栄養評価の基本を理解し、何らかの障害があってもその人なりの生き方を考えた栄養ケアや食支援について学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		症例検討と発表(小児・障害児)	鳥井隆志(兵庫県立尼崎総合医療センター栄養管理部栄養管理課主査)	疾患や障害を持つ小児期の症例を通して、小児期の栄養評価や栄養ケアのアウトカムの設定について理解する	1時間	13:00~ 14:00
		症例検討と発表(障害児)	片岡陽子(川崎市社会福祉事業団れいんぼう川崎)	障害者の症例を通して、障害者のケアについて理解し、栄養ケア実践にむけての多職種協働等についても理解を深める。	1時間	14:00~ 15:00
		経営の基礎	野本尚子(千葉大学医学部附属病院栄養管理室長)	大学附属病院(特定機能病院)における栄養部門の経営について学ぶ。	1時間	15:00~ 16:00
		症例検討と発表(高齢者消化管)	野本尚子(千葉大学医学部附属病院栄養管理室長)	高齢の消化管術後症例の栄養ケアプロセスによる検討と討議、解説。	1時間	16:00~ 17:00
10	10月1日 (日) 10:00~ 17:00	集団の栄養評価と計画(研究法、論文の書き方の基礎)	遠又靖文(神奈川県立保健福祉大学准教授)	集団の栄養評価と計画について、疫学・統計学の活用について学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		集団の栄養評価と計画(論文の書き方)	西連地利己(獨協医科大学教授)	臨床栄養師認定論文の作成を目指した論文の書き方のコツの全てを学ぶ。論文作成や投稿の初心者、臨床栄養師論文試験の必須科目。投稿経験者も開眼する講義。	2時間	13:00~ 15:00
		集団の栄養評価と計画(実際の原著論文の読み方、文献検索方法)	多田由紀(東京農業大学准教授)	横断研究、追跡研究、介入研究など、実際の原著論文を事例として、論文に記載すべき事項や考察の展開の仕方など、論文の書き方を学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00
11	11月18日 (土) 10:00~ 17:00	栄養教育(生活習慣病)(循環器疾患)	宮島功(近森病院臨床栄養部部長)	循環器疾患の栄養管理・栄養教育(症例を含めて)最新の情報と実務のあり方を学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		特別講義 糖尿病指導に必要な基礎知識	田中明(女子栄養大学名誉教授)	高齢者の糖尿病の栄養指導に関するエビデンスに関する講義と症例検討。	2時間	13:00~ 15:00
		症例検討と発表(糖尿病)	田中明(女子栄養大学名誉教授)、蒲池桂子(女子栄養大学教授)	女子栄養大学クリニックの教育研究の専門家が、糖尿病症例について管理栄養士と医師の立場から検討と討議を展開する。	2時間	15:00~ 17:00
12	11月19日 (日) 10:00~ 16:00	人材教育と自己研鑽、生涯学習	梶井文子(東京慈恵会医科大学教授)	高齢者の看取りやエンド・オブ・ライフにおける基本的な理解を深め、栄養ケア・マネジメントのあり方を倫理、本人・家族のニーズの把握、意志決定プロセスから学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		在宅栄養ケア・マネジメント	佐藤悦子(愛全診療所居宅療養管理指導)	在宅訪問栄養ケアの実務と連携体制の実践について学ぶ。	1時間	13:00~ 14:00
		症例検討と発表(ターミナルケア)	中野もも(特別養護老人ホーム愛全園栄養課主任)	ターミナルケアの症例検討と発表を行う。	2時間	14:00~ 16:00

NST(栄養サポートチーム)研修

栄養サポートチーム加算の施設基準となる専門職を育成致します。

2010年4月1日診療報酬に「栄養サポートチーム加算」新設から13年。
いま栄養サポートチームでの「**食**べること」の支援が注目されている

診療報酬「栄養サポートチーム加算」を取得するための「栄養管理にかかる所定の研修」です。栄養サポートチームの専従者及び専任者となる常勤の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士が対象です。経口移行、経口維持をチームで支援し、病院と施設・在宅との連携を重視しています。

(本研修は、厚生労働省が指定する「栄養管理に係る所定の研修」です)

対象

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士等 ※当学会員、非会員を問いません。

	医師の方	医師以外の職種の方
研修内容	講義 10時間	講義 30時間 臨床研修 10時間 ※学会認定研修施設の勤務者は 自院での臨床研修が可能
費用	22,000円	55,000円
講義日程	令和5年8月5日(土)、6日(日)	令和5年8月5日(土)～8日(火)
開催方法	WEB	講義: WEB 臨床研修: 約310の研修施設の中から 希望施設(病院のみ)を選択可能 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 他施設での実習が困難となる場合もあります ので、状況によっては、できるだけ自施設での 実習をお願いする場合があります。

お申込み

次ページをご確認の上、学会ホームページに掲載又は次ページ掲載のURL(申込Form)、もしくは次ページの画像を読み取ってお申込みください。

お問い合わせ

日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師研修担当 加納 亜紀子

E-mail: ncm.kanou@gmail.com

※メールでのお問い合わせにご協力をお願い致します。

◆ お申込み締切

令和5年7月3日(月)朝9時

※満席になり次第受付を終了致します。(先着300名様)



◆ 申込方法

学会ホームページ掲載又は下記URL(申込Form)、
もしくは右の画像を読み取ってお申込みください。

<https://forms.gle/BvnDyMQ19WvAgQxy6>

上記の方法ができない方・複数名のお申込みは、メールにて下記内容をお送り下さい。

送信先: ncm.kanou@gmail.com

件名: 「令和5年度栄養サポートチーム研修希望」

本文: ①氏名(姓と名の間スペースを入れてください。漢字の間違えにご注意下さい。
申込時の氏名が修了証に記載されます)

②生年月日

③勤務先名

④研修テキスト送付先の〒番号、住所

⑤修了証送付先の〒番号、住所(④と同じ場合には「④と同じ」で結構です。)

⑥連絡先の電話、メールアドレス

⑦職種

⑧臨床研修希望病院を第3希望まで(募集要綱24～29ページ「臨床栄養師研修施設
一覧」から病院のみ。学会認定研修施設のみ。医師は記載不要。)

※(土日祝を除いて)3日経っても、また7月4日(火)になっても受付完了メールが届かない場合は
ncm.kanou@gmail.comへご連絡下さい。

◆ 費用の振込先

振込先は受付完了メールに記載してお知らせいたします。

※令和5年4月1日～7月7日の間にお振込み下さい。

◆ 日本臨床栄養学会の単位認定について

NST研修に参加された医師の方は、

日本臨床栄養学会の認定臨床栄養指導医／認定臨床栄養医取得・更新のための単位:
2単位(最大)取得(日本臨床栄養学会主催以外の教育的企画参加として)となります。

■ いただいた個人情報は適切に管理し、当学会関連の案内送付等を除き、第三者に開示・提供はいたしません。

日本健康・栄養システム学会

令和5年度臨床栄養師認定講座、栄養サポートチーム研修講義日程表

(令和5年8月5日(土)～8日(火))

※栄養サポートチーム研修 医師(8月5日～6日) : 色つきの部分のみ、10時間です。※栄養サポートチーム研修 医師以外の職種の方(8月5日～8日) : 30時間です。

時限	時間	科目名(担当者名)			
		令和5年 8/5(土)	8/6(日)	8/7(月)	8/8(火)
会場		WEBによる			
	9:20-9:30	オリエンテーション			
1	9:30-10:30 *	臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・3時間)	臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (静脈栄養) 【応用】 (深柄和彦・3時間)	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (田中和美・2時間) 福祉基礎	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (矢野目英樹・2時間) P E S基礎
2	10:30-11:30 *				
3	11:30-12:30 *			臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (三原法子・2時間) 水電解質と輸液	臨/NST 退院(所)計画・指導 (高崎美幸・2時間)
4	13:20-14:20 *	臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (経腸栄養)【基礎】 (懸濁法等 薬剤との関係) (菅野浩・1時間)	臨/NST(医師含む) 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (深柄和彦・1時間)		
5	14:20-15:20 *	臨/NST(医師含む) 倫理とチーム活動 (三浦公嗣・2時間)	臨/NST 特定保健用食品、 保健機能食品、 病者用食品の検討 (梅垣敬三・2時間)	臨/NST 在宅栄養ケア・ マネジメント (古賀奈保子・2時間) 高齢者在宅	臨/NST 経腸栄養退院指導の 多職種連携 (大石朋子・2時間)
6	15:20-16:20 *				
7	16:20-17:20 *	臨/NST 科学的根拠に基づいた 栄養ケア・マネジメント 活動 (榎裕美・2時間)	臨/NST 特定保健用食品、 保健機能食品、 病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	臨/NST 経腸・静脈栄養法: NSTの実際と症例 (工藤雄洋・2時間)	
8	17:20-18:20 *				

※「経腸栄養退院指導の多職種連携」について※

・8/8(火)の「経腸栄養退院指導の多職種連携」は、「退院(所)計画・指導」にあたります。

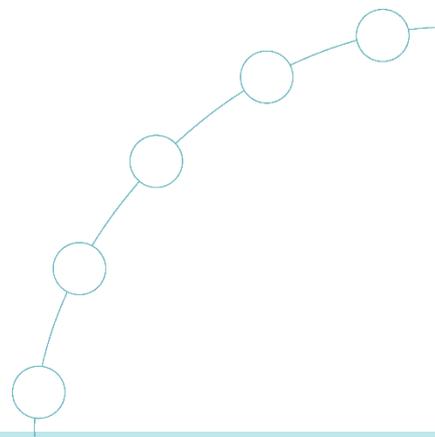
講義時間について

・各講義時間の最後の10分間は、「まとめ」の時間とします。

栄養サポートチーム研修：診療報酬栄養サポートチーム加算の施設基準である専従者及び専任者となる看護師、薬剤師、管理栄養士等を育成することを目的としております。

・医師は、2日間(8/5(土)9:30～16:20、8/6(日)9:30～14:20の10時間)です。

・医師以外の職種の方は、4日間(最終日は16:20まで、30時間)及び、臨床研修10時間です。臨床研修については、募集要項をご覧ください。



公開研修

臨床栄養や栄養ケア・マネジメントへの理解を深めたい
専門職にご参加頂けます。



臨床栄養師研修は、平成30年度より、臨床栄養師取得を目的とされない専門職の方(当学会員・非会員問わず)どなたでも講義を受ける事が可能となりました。

◆ 費用

会 員：1時間につき1,500円(1日単位でお申込み下さい。

研修5時間：7,500円、6時間：9,000円、7時間：10,500円)

非会員：1時間につき2,000円(1日単位でお申込み下さい。

研修5時間：10,000円、6時間：12,000円、7時間：14,000円)

※講義日程、詳細はP3～4をご確認下さい。

※8月5日(土)～8月8日(火)のNST(栄養サポートチーム)研修には参加頂けません。

◆ 臨床栄養師資格

資格の取得を希望する場合には、受講済み科目・時間数は、
受講参加証の提出により履修互換が認定されます。

詳細は当学会ホームページに掲載の募集要項をご覧ください。

お問い合わせ

日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師研修担当 加納 亜紀子

E-mail: ncm.kanou@gmail.com

※メールでのお問い合わせにご協力をお願い致します。

◆ 受講方法

インターネットでご参加下さい: WEBにより行います。インターネットに繋がったパソコン、スマートフォン、タブレットをご用意ください。お申込みの方には、受講方法をご案内します。

◆ 申込方法

学会ホームページ掲載又は下記URL(申込Form)、もしくは下の画像を読み取ってお申込みください。

<https://forms.gle/rTyLD1MNPJBYsoWe7>

上記の方法ができない方は、メールで下記内容をお送り下さい。

送信先: ncm.kanou@gmail.com

件名: 「令和5年度認定講座受講希望 ○月○日分」

本文: ①氏名

②勤務先名

③連絡先の電話、メールアドレス

④会員/非会員

⑤職種

⑥受講日が複数の場合には受講日

※追って受付完了メールをお送りします。10日程経っても届かない場合・開催日の5日前までに届かない場合は、ncm.kanou@gmail.comへご連絡下さい。

※送信後に、追加がありましたら、改めてご入力ください。

※キャンセルの場合には、メールにてncm.kanou@gmail.comへご連絡をお願いします。



◆ お申込み締切

各回5日前(土日祝日除く)までにお申込みください。

◆ 費用の振込

振込先は受付完了メールに記載してお知らせいたします。

※受付メール受信後、令和5年4月1日以降、各講座開催の3日前までにお振込み下さい。

※振込後、欠席等による費用の返却は一切できません。領収書は発行していません。

◆ 欠席対応について

欠席者は、その理由によりオンデマンド配信された動画の視聴も可能です。

(栄養サポートチーム研修の科目を除く。)

◆ 日本臨床栄養学会の単位認定について

臨床栄養師研修認定講座に参加された医師の方は、

日本臨床栄養学会の認定臨床栄養指導医/認定臨床栄養医取得・更新のための単位:

2単位(最大)取得(日本臨床栄養学会主催以外の教育的企画参加として)となります。

大学院生・大学院の先生方へ

大学院生は臨床栄養師研修を受ける絶好のチャンスです。

大学院生へ

臨床栄養師資格は、認定講座100時間、臨床研修900時間という多くの研修を経て授与されます。実際、臨床栄養師はこのような豊富な経験をもとに病院など様々な分野で活躍されています。大学院は臨床栄養師研修に最適です。就職後に臨床栄養師研修を受ける場合に比較して、大学院生は時間的余裕があります。また、大学院生が臨床栄養師研修を受ける場合、認定講座の一部免除が受けられる、認定講座の受講料の優遇処置が受けられるなど数々な特典があります。管理栄養士としてより実践的な栄養管理業務を担当することが可能です。大学院生は臨床栄養師研修を受ける絶好のチャンスです。また、認定講座欠席の場合には、規定に基づき、その理由により指定課題のレポートの提出やオンデマンド配信された動画の視聴によって出席となります(栄養サポートチーム研修の科目を除く)。

臨床栄養師研修委員長 加藤昌彦(相山女学園大学教授)

大学院生が臨床栄養師研修を受講することのメリット

●認定講座の一部免除(詳細は規定参照)

- ①第20回(平成17年度)以降の管理栄養士国家試験合格者は、認定講座16時間免除あり、大学院単位認定あり
- ②臨床栄養師研修担当責任者が配属されている大学院の大学院学生は、大学院履修科目において、認定講座の履修時間に互換認定を申請できます
- ③大学院の教育課程に位置づけ、大学院修了要件としての取得単位の一つとして認定も可
- ④大会、地方会等に出席すると1日が認定講座20時間(NST研修科目を除く。2日で40時間)、継続研修に出席すると認定講座20時間(NST研修科目を除く)が認定されるので、認定講座受講がかなり軽減されます
- ⑤大学院生であった者は履修科目を証明する書類及び履修科目内容を示す書類(シラバス等)を提出することで認定講座の履修時間に互換認定を申請できます

●受講料の免除

- ①認定講座の受講料は一般121,000円であるが、大学院生、大学院生であった者は39,600円と優遇されています
- ②臨床研修を大学院演習科目受講という位置づけにしている大学は、臨床研修にかかる費用は、大学が負担します

●栄養サポートチーム加算

臨床栄養師資格が授与されると、栄養サポートチーム加算(週1回200点)の専任となる要件を満たすことができます

●その他

- ①900時間と長時間の臨床研修が必要なため、大学院在学中の方が日程調整しやすいです
- ②就職後では、長期間を費やして研修を受けることや他職種の仕事内容を詳しく知る機会が得られません
- ③管理栄養士資格取得後に研修を受ける為、学部の臨地校外実習とは異なり、実際の栄養指導業務を担当させてもらうことができます
- ④様々な臨床分野の第一線の現場で臨床研修を受けることができ、診療科・病棟別栄養管理(特定集中治療室等を含める)、栄養サポートチーム、介護、障害・福祉サービス、特定保健指導・介護予防やCKD予防等の栄養指導(訪問を含める)の業務を通して、実践栄養の専門的技術の質の向上を図ることができます
- ⑤教育・研究職や栄養管理の高度専門職を目指す大学院生の実践活動のキャリアになります

■ いただいた個人情報は適切に管理し、当学会関連の案内送付等を除き、第三者に開示・提供はいたしません。

お問い合わせ

日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師研修担当 加納 亜紀子

E-mail: ncm.kanou@gmail.com

※メールでのお問い合わせにご協力をお願い致します。